

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年7月15日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	伊佐市 (46224)
地域名 (地域内農業集落名)	羽月地区 (園田、鳥巢上、鳥巢下、富士、松木原、大島北、大島南、山之口、麓町、上ノ馬場、上ノ馬場上、白木、並木、須原、萩谷、日ノ出、湯ノ谷、金波田、駅前、高津原、堂崎、竜石、下殿、大住、包ノ原、山神、富ヶ丘、豊原、羽山、勝負ヶ段)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	371 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	371 ha
② 田の面積	317 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	54 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	37 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	73 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	68 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区の主な栽培作物は水稻であり、ゴボウ、大豆、サトイモ、ネギなども多く栽培されている。農業者の平均年齢は64歳である。金波田地区においては、当面は現在の農業者で農地を維持していくことができる。地区内は、整備された農地以外に宅地と山林の間の未整備農地が多数存在しているため、集積、集約が難しい状況になっている。このため多様な経営体により農地が維持されている状況にある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

中心経営体への集積・集約化を進めるとともに、兼業農家などの多様な経営体についても支援する。平地でも有害鳥獣が見られるようになっているため、地域全体で農地周辺の保安全管理に取り組んでいく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
今後高齢化等で離農する農地に対し、農地バンクの活用を呼びかけ、担い手への集積を推進する。担い手が不足する場合は、地域内外から多様な担い手を募るなど、耕作放棄地を発生させないよう継続して取り組んでいく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	44	%	将来の目標とする集積率
			54 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
規模拡大志向の農家が少ないため、ほぼ現状維持としている。高齢農家が離農する場合や空き農地が出てきた場合には、地域の担い手に対し、集積、集約化を進めていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
借り受ける農地は、なるべく現在耕作している農地に隣接している農地の耕作者が借り受けながら団地面積を拡大していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
利用権設定されている農地の期間満了後に農地中間管理機構に移行していく。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備はほぼ実施済みであり、再整備については今のところ予定していない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
専業農家への集積、集約化を進めつつ、兼業農家についても必要に応じて規模拡大を支援するなど、地域一体となって多様な経営体の育成に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農業公社への委託等により、農作業の省力化に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①市鳥獣被害防止計画により、捕獲や防止柵設置を今後とも継続していくほか、市内の有害鳥獣処理施設により解体・加工されたジビエ肉活用の普及・周知を行っていく。
- ②家畜排せつ物堆肥化肥料の利用を推進するなど、消費者ニーズも踏まえつつJAと連携し、営農指導を行っていく。
- ⑨耕作放棄地となっている農地での飼料用作物栽培を推進するなど、飼料の市内生産を推進する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	(別紙)								
計	44経営体		168 ha	0 ha		205 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農		水稻、大豆	23.5 ha	0 ha	水稻、大豆	27.9 ha	0 ha	1	
2	認農		水稻、ぶどう	14.0 ha	0 ha	水稻、ぶどう	16.7 ha	0 ha	2	
3	認農		水稻	12.3 ha	0 ha	水稻	14.7 ha	0 ha	3	
4	認農		水稻	10.8 ha	0 ha	水稻	12.9 ha	0 ha	4	
5	認農		水稻	10.1 ha	0 ha	水稻	12.1 ha	0 ha	5	
6	認農		水稻、たばこ、大豆、ごぼう	9.0 ha	0 ha	水稻、たばこ、大豆、ごぼう	10.8 ha	0 ha	6	
7	認農		水稻、ねぎ	8.1 ha	0 ha	水稻、ねぎ	9.7 ha	0 ha	7	
8	認農		水稻、肉用牛、大豆	7.0 ha	0 ha	水稻、肉用牛、大豆	8.4 ha	0 ha	8	
9	認農		茶	6.9 ha	0 ha	茶	8.3 ha	0 ha	9	
10	認農		水稻、ごぼう、大豆	5.9 ha	0 ha	水稻、ごぼう、大豆	7.1 ha	0 ha	10	
11	認農		水稻、大豆、ごぼう、かぼちゃ	5.9 ha	0 ha	水稻、大豆、ごぼう、かぼちゃ	7.6 ha	0 ha	11	
12	認農		水稻、肉用牛	5.8 ha	0 ha	水稻、肉用牛	7.5 ha	0 ha	12	
13	認農		水稻、肉用牛、大豆	5.2 ha	0 ha	水稻、肉用牛、大豆	6.7 ha	0 ha	13	
14	認農		水稻、肉用牛	4.4 ha	0 ha	水稻、肉用牛	5.7 ha	0 ha	14	
15	認農		水稻、ねぎ、大豆	4.2 ha	0 ha	水稻、ねぎ、大豆	5.4 ha	0 ha	15	
16	到達		水稻	3.8 ha	0 ha	水稻	4.9 ha	0 ha	16	
17	到達		水稻	3.4 ha	0 ha	水稻	4.4 ha	0 ha	17	
18	認農		肉用牛、酪農、飼料作物	3.3 ha	0 ha	肉用牛、酪農、飼料作物	4.3 ha	0 ha	18	
19	認農		水稻	3.2 ha	0 ha	水稻	4.2 ha	0 ha	19	
20	認農		水稻	2.9 ha	0 ha	水稻	3.8 ha	0 ha	20	
21	認農		水稻、大豆	2.5 ha	0 ha	水稻、大豆	3.0 ha	0 ha	21	
22	利用者		水稻	2.3 ha	0 ha	水稻	2.8 ha	0 ha	22	
23	利用者		水稻、大豆	2.3 ha	0 ha	水稻、大豆	2.8 ha	0 ha	23	
24	到達		水稻、ゴーヤ	1.5 ha	0 ha	水稻、ゴーヤ	1.8 ha	0 ha	24	
25	認農		水稻、大豆、にがうり	1.4 ha	0 ha	水稻、大豆、にがうり	1.7 ha	0 ha	25	
26	認農		水稻、大豆	1.2 ha	0 ha	水稻、大豆	1.4 ha	0 ha	26	
27	認農		水稻、肉用牛	1.2 ha	0 ha	水稻、肉用牛	1.4 ha	0 ha	27	
28	認就		ねぎ	0.7 ha	0 ha	ねぎ	0.8 ha	0 ha	28	
29	認農		水稻	0.7 ha	0 ha	水稻	0.8 ha	0 ha	29	
30	認農		水稻、加工用米、トマト、メロン、大豆	0.6 ha	0 ha	水稻、加工用米、トマト、メロン、大豆	0.7 ha	0 ha	30	
31	認農		水稻、ねぎ	0.6 ha	0 ha	水稻、ねぎ	0.7 ha	0 ha	31	
32	認農		トマト、いちご	0.5 ha	0 ha	トマト、いちご	0.6 ha	0 ha	32	
33	利用者		水稻	0.4 ha	0 ha	水稻	0.5 ha	0 ha	33	
34	認農		肉用牛、飼料作物	0.4 ha	0 ha	肉用牛、飼料作物	0.5 ha	0 ha	34	
35	認農		肉用牛	0.3 ha	0 ha	肉用牛	0.4 ha	0 ha	35	
36	認農		水稻、たまねぎ、かぼちゃ	0.3 ha	0 ha	水稻、たまねぎ、かぼちゃ	0.4 ha	0 ha	36	
37	認農		水稻、たばこ、ごぼう	0.3 ha	0 ha	水稻、たばこ、ごぼう	0.4 ha	0 ha	37	
38	認農		水稻、たばこ、大豆	0.3 ha	0 ha	水稻、たばこ、大豆	0.4 ha	0 ha	38	
39	認農		肉用牛、飼料作物	0.2 ha	0 ha	肉用牛、飼料作物	0.2 ha	0 ha	39	
40	認農		水稻、いちご、かんしょ	0.2 ha	0 ha	水稻、いちご、かんしょ	0.2 ha	0 ha	40	
41	認農		水稻、かぼちゃ、ごぼう、ねぎ	0.2 ha	0 ha	水稻、かぼちゃ、ごぼう、ねぎ	0.2 ha	0 ha	41	
42	認農		かぼちゃ、ねぎ	0.2 ha	0 ha	かぼちゃ、ねぎ	0.2 ha	0 ha	42	
43	到達		水稻、肉用牛	0.1 ha	0 ha	水稻、肉用牛	0.1 ha	0 ha	43	
44	認農		養豚	0.0 ha	0 ha	養豚	0.0 ha	0 ha	44	農業用施設（畜産）

